

(別添)

2019年2月28日

NITE (ナイト)

独立行政法人製品評価技術基盤機構

中 部 支 所

News Release

誤った使い方が火災の導火線に！ ～配線器具や充電ケーブルで火災、やけどが発生～ ～ 東海4県版 ～

NITE (ナイト) が収集した延長コードなどの配線器具による製品事故情報^{※1}は、東海地方4県 (静岡県、愛知県、岐阜県及び三重県) において2013年度～2017年度の5年間に合計53件^{※2}あり、そのうち火災が半数以上の36件ありました。

また、スマートフォンなどで使用する充電ケーブルによる製品事故は東海地方4県において2013年度～2017年度の間合計8件あり、そのうち火災が1件ありました。

配線器具や充電ケーブルを誤って使用すると、火災ややけどにつながる恐れがあります。使い方に注意して、事故を未然に防止しましょう。

1. 配線器具による製品事故発生状況

(1) 各県の年度別 事故発生件数

表1に配線器具による製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表1 「県別」及び「年度別」の事故発生件数 (単位: 件) ^{※3}

年 度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合 計
2013 年度	1 (1)	4 (3)	2 (1)	2 (2)	9 (7)
2014 年度	3 (3)	3 (3)	4 (1)	0	10 (7)
2015 年度	0	4 (3)	4 (1)	2 (2)	10 (6)
2016 年度	1 (1)	5 (1)	2 (1)	1	9 (3)
2017 年度	0	5 (5)	6 (4)	4 (4)	15 (13)
合 計	5 (5)	21 (15)	18 (8)	9 (8)	53 (36)

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報 (被害なし) を含む。

(※2) 2019年1月31日現在、重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※3) () は火災件数。

(2) 各県の被害状況^{※4}別 事故発生件数

表 2 に配線器具による製品事故の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

表 2 「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）^{※3}

被害状況 ^{※4}		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
人的被害	死亡	0	1 (1)	0	0	1 (1)
	重傷	0	1 (1)	0	0	1 (1)
	軽傷	0	2 (1)	0	0	2 (1)
物的被害	拡大被害	4 (4)	15 (11)	12 (7)	8 (7)	39 (29)
	製品破損	1 (1)	2 (1)	6 (1)	1 (1)	10 (4)
被害なし		0	0	0	0	0
合計		5 (5)	21 (15)	18 (8)	9 (8)	53 (36)

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 各県の製品別 事故発生件数

表 3 に配線器具による製品事故の「県別」及び「製品別」の事故発生件数を示します。

表 3 「県別」及び「製品別」の事故発生件数（単位：件）^{※3}

製品	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合計
延長コード・テーブルタップ	3 (3)	16 (10)	16 (7)	7 (6)	42 (26)
コンセント	1 (1)	2 (2)	0	2 (2)	5 (5)
コードリール	1 (1)	1 (1)	2 (1)	0	4 (3)
充電器	0	1 (1)	0	0	1 (1)
マルチタップ	0	1 (1)	0	0	1 (1)
合計	5 (5)	21 (15)	18 (8)	9 (8)	53 (36)

2. 充電ケーブルによる製品事故発生状況

(1) 各県の年度別 事故発生件数

表4に充電ケーブルによる製品事故の「県別」及び「年度別」の事故発生件数を示します。

表4 「県別」及び「年度別」の事故発生件数（単位：件）※³

年 度	静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合 計
2013 年度	0	2	0	0	2
2014 年度	0	0	1	0	1
2015 年度	0	0	0	0	0
2016 年度	1 (1)	1	0	0	2 (1)
2017 年度	1	2	0	0	3
合 計	2 (1)	5	1	0	8 (1)

(2) 各県の被害状況※⁴別 事故発生件数

表5に充電ケーブルによる製品事故の「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数を示します。

表5 「県別」及び「被害状況別」の事故発生件数（単位：件）※³

被害状況※ ⁴		静岡県	愛知県	岐阜県	三重県	合 計
人的 被害	死 亡	0	0	0	0	0
	重 傷	0	0	0	0	0
	軽 傷	0	1	1	0	2
物的 被害	拡大被害	2 (1)	2	0	0	4 (1)
	製品破損	0	2	0	0	2
被 害 な し		0	0	0	0	0
合 計		2 (1)	5	1	0	8 (1)

3. 配線器具や充電ケーブルによる製品事故の事故事例

(1) 配線器具：延長コード・テーブルタップの事故

2014年9月（愛知県、40歳代・女性、拡大被害）

【事故内容】

テーブルタップ及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故原因】

テーブルタップは、タップ内部に塩分を含む異物が入ったため、内部でトラッキング現象が生じて出火に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「水のかかる場所では使用しない。水・洗剤等に浸った場合は新品に交換する」旨、記載されている。

(2) 配線器具：コンセントの事故

2013年12月（三重県、年代・性別不明、拡大被害）

【事故内容】

床埋設置型のコンセントの周辺が焼損した。

【事故原因】

床埋設置型のコンセントの差込口を上げた状態で大きな力を加えたため、ヒンジが折損して差込口が大きく動いた際、外れたヒンジ用バネが配線接続部に接触して漏電が生じ、過電流が流れて焼損したものと推定される。

(3) 配線器具：コードリールの事故

2013年8月（岐阜県、年代・性別不明、拡大被害）

【事故内容】

コードリールのコンセント付近から出火し、コンセントに接続していた電気製品のプラグが溶融した。

【事故原因】

洗浄槽近くで使用していたため、洗浄剤が事故品のコンセント内部に浸入し、刃受け金具間でトラッキングが生じて焼損したものと推定される。

(4) 充電用ケーブル：携帯電話機充電中の事故

2013年6月（愛知県、30代・女性、軽傷）

【事故内容】

充電中の携帯電話機（スマートフォン）から異臭がして、充電器接続部が焦げ、コネクタを抜く際に指にやけどを負った。

【事故原因】

携帯電話機の接続端子内部に塩素を含む液体が浸入したため、充電時にショートが生じて発熱・焦げに至ったものと推定される。

(5) 充電用ケーブル：タブレット充電中の事故

2017年7月（静岡県、年代・性別不明、拡大被害）

【事故内容】

タブレット端末用ACアダプターのコネクタ一部が溶融し、周辺が焦げた。

【事故原因】

出力コネクタ一部に過度な応力が加わったため、コネクタピンとコネクタシェル（金属）が変形して接触状態となり、スパークが生じてコネクタ樹脂が溶融したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「充電端子を変形させない。変形した場合コンセントから抜く。火災の原因となる。」旨、記載されている。

4. 配線器具や充電ケーブルによる製品事故の実験映像について

配線器具や充電ケーブルによる製品事故の再現実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

■映像の提供について

提供する映像へのクレジットは「製品評価技術基盤機構+nite ロゴ」としてください。

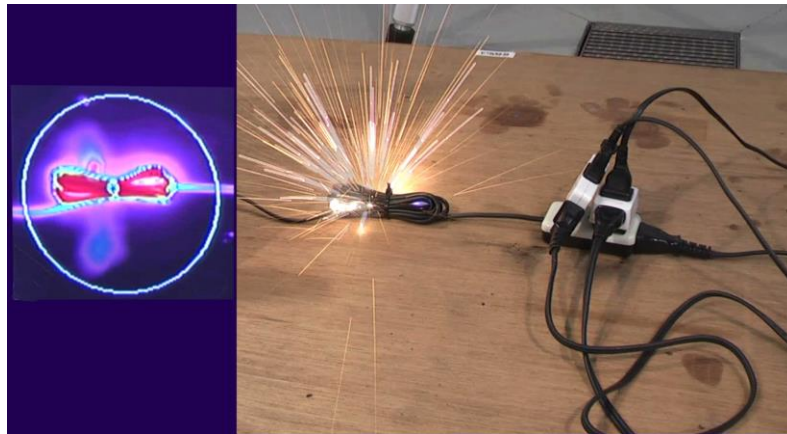


写真 静止画例

(本件に関するお問い合わせ先)

〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-5-1 名古屋合同庁舎第 2 号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中部支所

支所長 葛谷 弘之

担当者：製品安全技術課 酒井、横田、西村

電話：052-951-1933 FAX：052-951-3902